

長野市自転車活用推進計画策定のためのアンケート調査結果【高校生向け】(速報)

1) 調査の目的

長野市自転車活用推進計画の策定にあたり、長野市内の自転車交通の現状及び市民等の意識を把握し、計画に反映させることを目的として実施した。

2) 調査方法

- 対象者：長野市内の高校へ自転車通学する生徒 1,120 人
- 調査方法：学校を通じた配布及び回収

3) 回収数・回収率

配布数	1,120
有効配布数	1,120
回収数	1,026
回収率	91.6%

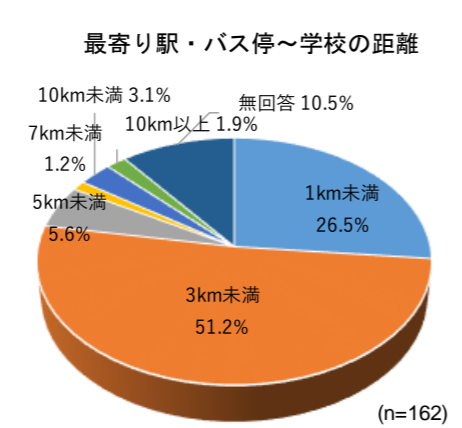
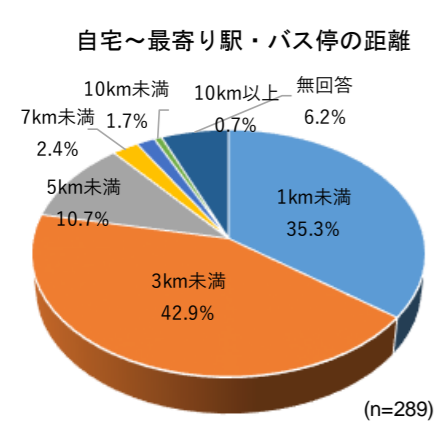
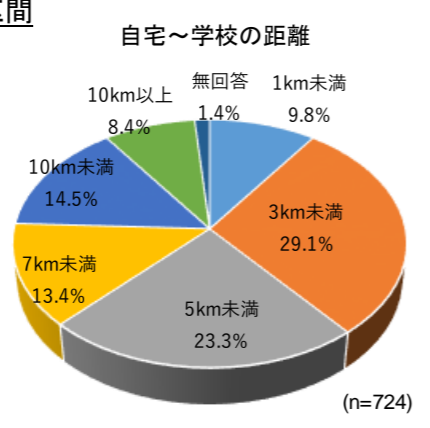
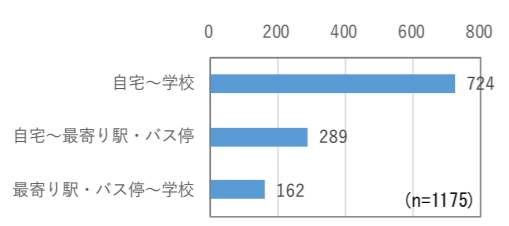
4) 調査対象高校 (順不同)

- 長野工業高校
- 長野俊英高校
- 長野女子高
- 長野日大高校
- 長野吉田高校
- 篠ノ井高校
- 篠ノ井高校犀峽校
- 国立長野高専
- 長野商業高校
- 長野清泉女学院高校
- 長野東高校
- 文化学園長野高校
- 松代高校
- 長野高校
- 市立長野高校
- 長野西高校
- 長野南高校
- 更級農業高校
- 長野西高校中条校

5) 集計結果 (抜粋)

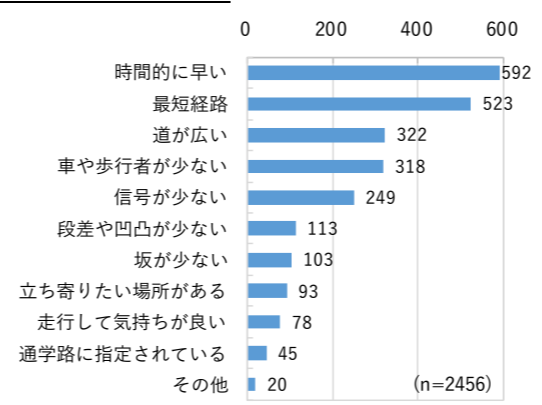
[問 4] 通学時に自転車を利用している区間

- 自転車を利用している区間の内訳は、「自宅～学校」が回答者の70.6%と7割近く。
- 距離はいずれの区間とも「3km未満」が最多。 p. 24



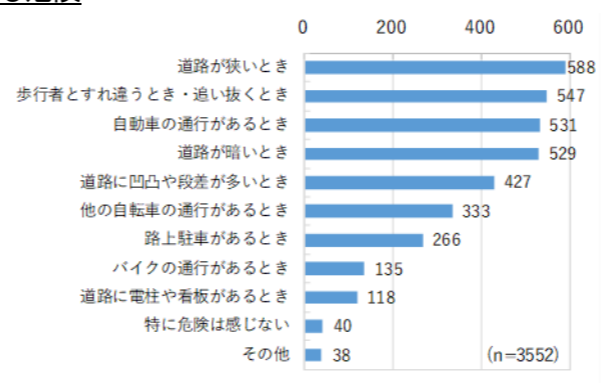
[問 5] 自転車の走行ルートを選ぶ際に重視する点

- 「時間的に早い」が最も多く、回答者の57.7%と半数以上が回答。
- 2番目に多かった「最短経路」も51.0%と半数以上。
- 次いで「道が広い」(31.4%)、「車や歩行者が少ない」(31.0%)の順。 p. 25



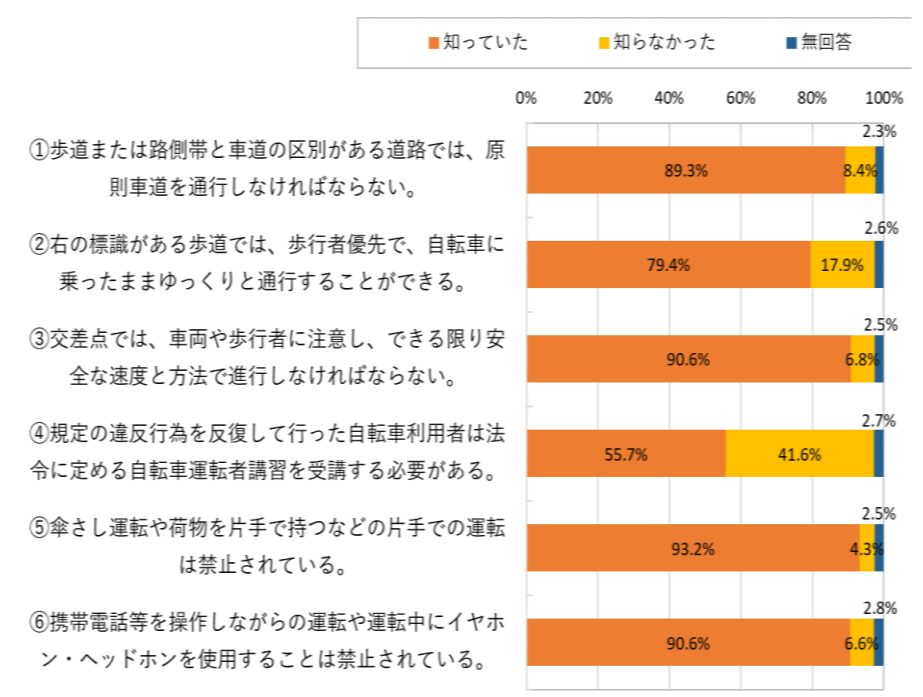
[問 7] 自転車走行時に感じる危険

- 「道路が狭いとき」が最も多く、回答者の半数以上が回答。
- 「歩行者とすれ違うとき・追い抜くとき」(53.3%)、「自動車の通行があるとき」(51.8%)、「道路が暗いとき」(51.6%)も半数以上の回答。 p. 26



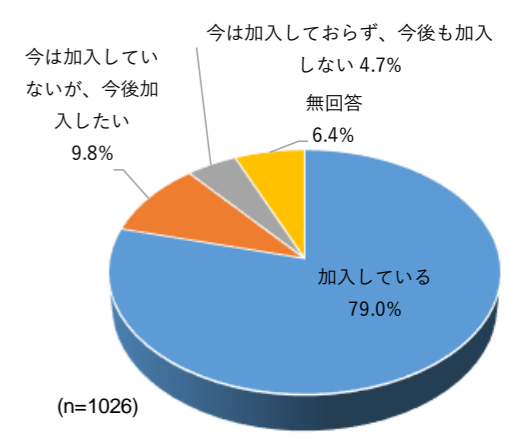
[問 11] 自転車交通ルールの認知度

- 全体的に認知度は高い。 p. 28



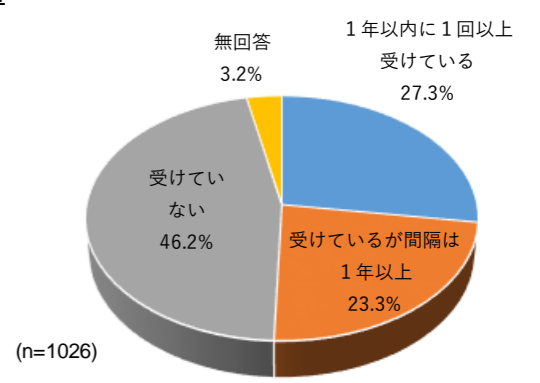
[問 13] 自転車保険への加入

- 「加入している」が79.0%と回答者の8割近くであった。学校で保険の紹介が行われていることから、加入率が高いものと考えられる。 p. 29



[問 14] 自転車店での点検・整備

- 「1年以内に1回以上受けている」は27.3%、「受けているが間隔は1年以上」は23.3%で、「受けている」の合計は50.6%。
- 「受けていない」は46.2%。 p. 30



[問 15] 長野市の自転車に関する取組への満足度

- 満足の度合いが比較的高いのは「自転車の駐輪スペース」及び「自転車の総合的な使いやすさ」。
- 不満の度合いが比較的高いのは「自転車の走行の安全性」及び「自転車の総合的な使いやすさ」。 p. 31

